

# 足尾銅山を 世界遺産へ



古河橋(国指定重要文化財)

世界遺産国内暫定一覽表への追加記載を目指して

平成25年10月号では、足尾銅山産業遺産の国史跡の追加指定などについてお知らせしました。今回は、国重要文化財(建造物)の指定などについてお知らせします。

## 足尾に残る文化財(建造物)

### 古河橋 (国指定重要文化財《建造物》)

古河橋は、足尾銅山の物資輸送のために足尾地域北部の渡良瀬川に架けられた橋長約49mの鉄橋です。明治23(1890)年に、ドイツのハーコート社から鋼材を輸入して架設されました。以後、新しい橋が架橋される平成5年までの100余年にわたって利用されました。

古河橋は、足尾銅山の近代初期に整備された施設のうち、ほぼ完存する唯一の遺構で、歴史的価値が高いものです。この橋は、日本でも数多く架設された同社製のボルト接合による橋梁の中で、原位置に残るものとしては、日本最古の遺構です。

また、西洋の先端技術を導入し、短時間で近代化を達成した橋梁分野の技術的展開を示す遺構として重要な



ことから、1月27日に国重要文化財(建造物)に指定されました。

### 足尾キリスト教会 (国登録有形文化財《建造物》 登録予定)

足尾キリスト教会は、明治41(1908)年に、イギリスのマイナーズ・ミッションから、当時としては

## 世界遺産登録推進シンポジウム

足尾銅山の価値を広く知ってもらうために、シンポジウムを毎年開催しています。平成25年度は、産業遺産見学会と講演会を開催しました。

### 産業遺産見学会

見学会：松木村跡・本山製錬所跡  
シンポジウムの一環として、平成25年10月18日(金)に開催した見学会には、市内外から約30名が参加しました。所有者の古河機械金属株式会社足尾事業所との共催で、松木村跡と本山製錬所跡を見学しました。

### 講演会

講師：近藤功氏(富岡製糸場世界遺産伝道師協会会長)

演題：富岡製糸場と絹産業遺産群の世界遺産登録活動について

講演の内容：平成25年10月26日(土)に足尾公民館会議室で開催しました。富岡製糸場世界遺産伝道師協会は、「富岡製糸場と絹産業遺産群」群馬県の平成26年世界文化遺産登録を目指して、普及啓発活動を積極的に進めている民間団体です。協会が実施している講演会やチラシ配布、県外キャンペーンなどについて、年間300日を超える活動の具体的な説明がありました。

なお、講演会終了後、足尾銅山の



講演会の様子

世界遺産登録を推進する会理事の星野一仁氏による足尾銅山関連画像上映会が行われました。

市は、足尾銅山の世界遺産登録を目指し、引き続き文化財の指定と保存管理、足尾銅山の価値証明、普及啓発活動を進めていきます。市民の皆さんのご理解、ご協力をお願いします。

くわしくは  
文化財課 世界遺産登録推進室  
☎(30)1861



足尾キリスト教会(国登録有形文化財登録予定)



見学会の様子(松木村跡)

破格の2,500円の献金を受けて建設されました。同ミッションは、イギリスの銅山経営で成功したG・ヒビアンが世界各国の鉱山に教会を建てることを目的に創設した組織で、日本で唯一その対象に選ばれたのが足尾銅山でした。

その後、教会は現在の福音伝道教団に受け継がれ、今でも足尾地域唯一の教会として利用されています。

足尾キリスト教会は、貴重な歴史的建造物であることから、日光地域の金谷侍屋敷主屋・土蔵(旧金谷カッタージーン主屋・土蔵)とともに、国登録有形文化財(建造物)に登録されることになりました。